



稲瀬地区

地域計画 課題と将来の方向性 ダイジェスト版

【稲瀬地区の農用地等面積】 1210.8 ha

うち 【田】 1060.1 ha 【畑】 146.1 ha

(農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積 1100.4 ha)

・今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積 合計-196.5ha

・稲瀬地区における75才以上の農業者の農地面積 合計 190.6 ha

・主な生産品目：水稲（主食・種子）、大豆、永年性牧草、飼料用米、そば、りんご、施設園芸（キュウリ、トマトなど）、肉用牛（繁殖）

(令和7年8月26日現在)

地域農業の課題

1. 高齢化の進行

- ― 離農の増加
- ― 75歳以上農業者(190.6ha)の大面积保有
- ― 後継者不在問題

2. 担い手の不足

- ― 若者の新規参入が少ない(収入が見込めない)
- ― 大規模農家の離農時後継者・受け手不在

3. 農地の集約化と集積の課題

- ― 集約化の進行で経営規模が偏る
- ― 受け手が出てこない農地の発生
- ― 作業組織の不十分さ

4. 耕作放棄地のリスク

- ― 管理できない農地の拡大

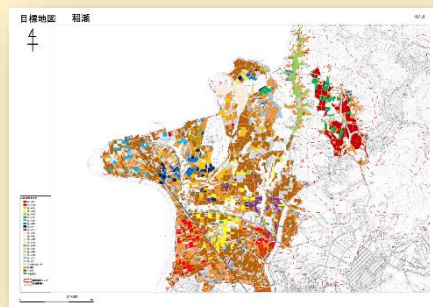
5. 農地データ・管理の課題

- ― 数値目標や実態データ(集積率等)の不足や不整合
- ― 将来的な農地流動化への備え不足

6. 経営・収支面の課題

- ― 収益力向上策が不十分

稲瀬地区の目標地図



地域計画は、奥州市内45地区で策定をしました。

地域計画は、地域の実情に合わせた取り組みを進めるため、地域の話し合いで出し合った「課題」や「今後の方向性」を取りまとめたものです。また、農地一筆ごとに10年後の耕作者を取りまとめた「目標地図」も作成されています。

このダイジェスト版は、地域農業の「課題」や「今後の方向性」を抜粋して作成したものです。

地域の現状は毎年変化していくものですので、年に1回程度、地域の皆さんで「課題はありますか?」、「困り事ありますか?」、「やってみたい農業はありますか?」など、話し合ってみてはいかがでしょうか。

地域農業の方向性

1. 管理組織の構築・強化

- 地域全体を管理できる組織の確立
- 中間管理機構の活用による農地流動性向上
- 離農や受け手不在時の対応力向上（作業受託組織の設立）

2. 多様な担い手の確保・育成

- 高齢・退職後の営農希望者の組織化
- 若者・新規就農者への参入促進

3. 持続可能な生産体系の追求

- 主な生産品目の維持・強化
 - 水稻（主食・種子）
 - 大豆
 - 永年性牧草
 - 飼料用米
 - そば
 - りんご
 - 施設園芸（キュウリ、トマト等）
 - 肉用牛（繁殖）
- 経済性・収支の検討を踏まえた新たな作物・取り組みの導入

4. 農地の効率的・総合的利用

- 地域の実態に合った作物による永久転作の検討
- 農用地集積と集団化（規模・管理の最適化）の推進

5. 基盤整備の推進

- 小区画水田の暗渠排水整備
- 区画内へのパイプライン整備検討

6. 新たな農業技術・環境対応への挑戦

- 有機・減農薬・減肥料農業への取り組み
- スマート農業技術の導入
- 鳥獣被害防止対策の強化
- 輸出・販路多様化への挑戦
- 保全・管理活動の促進

このダイジェスト版を「地域の話し合いで使いたい」「振興会に配りたい」などのご要望がありましたら、印刷してお渡しすることもできますので、下記までご連絡ください。

また、目標地図や他の地域計画は、奥州市ホームページに掲載しています。

※個人情報に該当する部分は掲載していません

■掲載ページ URL

<https://www.city.oshu.iwate.jp/soshiki/7/1057/2/chiikikeikaku/17284.html>

▶ 市ホームページでの検索方法

奥州市ホームページ→「情報を探す」→「ページ ID を入力」の入力欄→「17284」を入力→検索

▶ スマホやタブレットなどで下記QRコードを読み込む



■問い合わせ…奥州市農政課人農地プラン推進室（TEL 0197-34-2371）

